




収穫の喜び!2年生の大根

8日(金)の1時間目は、おひさま広場から、歓声が聞こえてきました。カメラ片手に行ってみると、2年生が自分たちで植えた大根の収穫をしていました。大根は、大きなものから、小さな大根、それに形が独特でユニークな大根まで多種多様でした。子供たちは「この大根重い!」「〇〇さんの大根は、妖精みたいな形をしている。」「大根を抜いた瞬間に、大根のいい匂いがした!」などと声を上げていました。大根を収穫して「『帯西ブルー』の心が伸びました。わけは、自分たちが育てた大根がこんなに大きく育ってくれたからです。」「大根は、おうちでおいしく食べたいと思います。おでんにしたり、葉っぱはお味噌汁に入れたりして食べたいです。」などと感想や抱負を教えてくださいました。



ちなみに、大根を植えるための学年園の畑は、5年生が耕し、畝(うね)をつくり、準備を整えてくれたそうです。5年生の皆さんもありがとうございました。

今年の流行語

今年話題となった言葉に贈られる「現代用語の基礎知識選2023年ユーキャン新語・流行語大賞」の年間大賞には、プロ野球・阪神の岡田彰布監督の「アレ(A.R.E.)」が選ばれました。「優勝」を意味する言葉ですが、選手が優勝を意識し過ぎて、プレーに影響が出ないような配慮から生まれた言葉です。新語・流行語大賞は1984年に始まりました。「現代用語の基礎知識」を発行する自由国民社などが、その年に話題になった言葉の中から、社会をうまく言い表したものを選び、その言葉にかかわった人や団体を表彰する賞です。これまで「チョー気持ちいい(2004年)」「インスタ映え(2017年)」「3密(2020年)」などが選ばれています。

新語・流行語トップ10	
1	アレ(A.R.E.)
2	新しい学校のリーダーズ/首振りダンス
3	OSO18/アーバンベア
4	蛙化現象
5	生成AI
6	地球沸騰化
7	ペッパーミル・パフォーマンス
8	観る将
9	闇バイト
10	4年ぶり/声出し応援

今回の3位の「OSO18」については私も詳しくは知りませんでした。これは、牛を襲うという行動、人間に姿を見せず、罾は見抜いてかからないという熊に名付けられたコードネームだそうです。北海道標茶町(しべちゃちょう)のオソツベツであったこと、前足の幅が18センチだったことからそう呼ばれました。ハンターによって駆除されたOSO18は、痩せた老ヒグマであったことから動物にとっての自然環境の厳しさ、餌を確保することの難しさが伝わりました。今年は人が熊に襲われる被害が相次ぎ、統計開始以降最多となりました。熊の生息範囲が広がり、市街地周辺に恒常的に住み、白昼堂々、人家に出没するアーバンベアの存在も認識されています。自然環境が変わり、野生生物の生態が変わってきたことを「OSO18」は教えてくださいました。